

# HELLO SHEL

UNIVERSITY JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

2024  
SCHOOL GUIDE



法政大学  
中学高等学校

法政座談会

# Hosei Table Talk

中学・高校それぞれの生徒達から、  
法政中学高等学校の魅力について聞いてみました。

—— 法政中高のどんなところに惹かれましたか？

F.T.: 高校は最終的に文系と理系に分かれる学校が多いですが、**法政は全教科を満遍なく学べるカリキュラムで、進路を考える際に選択肢が狭まらず魅力的だと感じました。**

S.E.: 入学前から野球部への入部を考えていて、試合観戦した際に楽しみながら活動しているようだったので、この学校で野球をしたいという想いが増えました。**大学付属校なので、存分に部活動に集中できるところもいいですね。**

A.R.: 私は受験前に**文化祭に行った時**、男女すごく仲が良いという印象を受けました。気さくに話しかけてくれる高校生もいて、その**先輩に憧れ**、そんな方がいる法政に入りたいと思いました。

K.R.: 僕も同じように、見学に行った時に在校生同士が楽しそうに話していて、さらに自分にも「**新入生?**」と話しかけてくれたので、普段から気遣ってくれる先輩がいる学校なんだなと。また、大学の付属校で、外国語に力を入れている点にも魅力を感じました。

—— 実際に入ってみていかがでしたか？

F.T.: 私は高校からの進学ということで**中入生との初対面は緊張しましたが、入ったら中入生も高入生も関係なく全員がまとまっていて、みんな一緒という感じで日々楽しいですね。**

A.R.: 私はコロナ禍に入学しましたが、「どの部活に入る?」「文化祭楽しそう」と、みんな楽しむしかないよねという気持ちになっていました。クラスの**団結も深まり入って良かったと感じています。**

K.R.: 法政中学は「**誰か1人がリーダーシップを取って周りがついて行く**」というような空気感がなく、和気藪々としていて男女仲もいいので、入学前に抱いた印象の良さは間違っていなかったなと。学年が上がる時のクラス替えで、改めて法政はいい人揃いだと思いました。

S.E.: 僕は中学からですが、確かにみんなフレンドリーで、初日からすぐに溶け込める安心感がありました。高校に上がる前は一度気を引き締めるタイミングというか、「**優秀な高入生という集団が入ってくる!**」ってすごく焦るんですよ(笑)。でもFさんが言ったように、高校では高入生も中入生も分け隔てなくみんなと一緒にやっという雰囲気、特にプレッシャーを感じることなく過ごせています。

—— ではこれまで印象的だった行事は？

S.E.: 中学2年生の時の文化祭です。法政についてまだそこまで理解が深まっている時期ではありませんでしたが、当日は来校者のみなさんに法政のことを紹介して、この学校のことを知っていただけたことが嬉しく印象に残っています。



中学3年 K.R.

中学3年 A.R.

高校3年 S.E.

高校3年 F.T.

A.R.: 私は中学2年生の時の林間学校です。立候補して実行委員になったものの、最初は顔見知りの方が少なく戸惑いました。ですが**勇気を持って発言したら、みんな私の意見に向き合ってくれてすごく安心しました。**実行委員をやったことが自信につながり、達成感が味わえました。

K.R.: **法政はみんな本当にフレンドリー**なので、1人になったらどうしようと思うような場面でも不安になるようなことはありません。行事はクラスや学年の枠を超えて交流を深められる機会なので、いつも存分に楽しんでいます。

F.T.: 高校1年生の時のスポーツ大会です。法政のスポーツ大会は生徒が主体となって進んでいて、競技も委員の子たちが意見を出し合って作り上げます。話には聞いていましたが、それを直接肌で感じたことで、**高校生になったんだなという実感が湧きました。**スポーツ大会だけでなく、文化祭などの他の行事も生徒がイチから議論を重ねて成功に導くので、法政中高が掲げる「**自主自律**」はまさにそういった部分で体现できていると感じます。

—— 部活動はいかがですか？

A.R.: 私が所属しているバスケ部は**団結力が強く、何でも乗り越えられる**と思えるようなメンバーが揃っています。悩みがあっても、部活が始まってしまえばすべて忘れてしまえるぐらいみんなで笑い合える。そんな部活で、日々が思い出です。

F.T.: チアリーディングは大人数で1つの演技を作り上げる競技なので、いろいろな考えを持つ部員同士が感情を共有し合い、気持ちを合わせていくのが**良さだと感じています。**部活で得た経験は社会に出た時にも生かされると思いますし、他部活の応援をする機会が多いので、それによって**友達の輪が広がったことも良かったこと**の1つです。

S.E.: 中高ずっと野球部でした。高校になると技術的にもより本格的になり部活の話も徐々に増えてきます。たとえば部活のことで悩んだら、それを他の部活の人と共有できて**仲も深まりました。**3年間続けることで成長できたと感じています。

K.R.: 僕はスキー部に所属していますが、人数がそれほど多くないので**中高一緒に活動しています。**練習メニューは学年ごとに分かれておらず、みんなでやろうというアットホームな雰囲気部活です。

—— 最後に、法政中高の魅力を教えてください。

F.T.: 団結力です。法政高校は6クラスと他校に比べて人数が少ないので、**生徒1人1人の顔が分かってすごくまとまっている**感じがします。

A.R.: **アットホームな感じで、知っている人が誰もいないようなところに放り込まれても、絶対に包み込んでくれるような安心感がある**というか。

K.R.: 勉強する時はきっちり勉強し、遊ぶ時には思いっきり遊ぶ、**メリハリのある生徒が多い**と思います。

S.E.: **生徒1人1人が個性豊かで面白く、先生方も個性溢れる方ばかり**です。1つのことをとことん勉強してきたという先生がすごく多くて、その**教科が大好き**なんだろうなというのがひしひしと伝わってくる。なので本当に分かりやすい授業をしてくださいます。



Hosei Education

自主・自律

## 自ら考え判断する「自律した人間」を育てる

コミュニケーション能力や問題解決能力を高める

自由な発想で考え、仲間とともにさまざまなことにチャレンジできること。それが大学付属校である本校の魅力です。身近なことから社会問題まで、自分たちの課題と向き合い、自分たち自身で解決方法を探る。そんな主体的な学びの場がここにあります。

大学付属校ならではのスクールライフ

### 受験勉強にとらわれない

クラブ活動、生徒会活動、行事の企画や運営など、自分が本当に打ち込みたいことに全力を注ぐことができます。自分たちで考え、自分たちで創るからこそ得られる達成感。お互いの考えをぶつけ合い、みんなで1つのことを成し遂げていく中で築かれる仲間達との信頼感。決して授業だけでは得られないたくさんの経験は、何事にも代えがたい貴重な財産になります。



仲間と協力し成し遂げ続ける学校生活

### 他者や社会と関わる

学校生活のあらゆる場面で求められるのは、生徒が自ら考え、判断し行動することです。そして、自分だけではなく仲間の主体性も尊重しながら、互いに夢の実現に向けて行動していかなければなりません。そのためには協調性と、問題解決能力が重要になります。生徒同士や、教員・保護者・地域の方々との対話やコミュニケーションなど、様々な社会生活を体験する中で、大きく成長します。



個性と主体性

中学生徒会長 M.R.

法政大学中学校は「自主・自律」の精神を尊び、全ての取り組みでその精神を追求する学校です。

現在、私たち生徒会執行部は、生徒一人ひとりの個性を尊重するために主体的に行動し、制服改定などに積極的に取り組んでいます。

普通の授業では自ら考える場面や仲間と協力する場面が多くあり、主体性や社会性を養うことができます。例えばプレゼンテーションでは個人またはグループで内容や伝え方を考え発表しています。



主体性を育む3年間の学び

高校生徒会長 H.K.

法政大学高校は自主・自律という教育精神を掲げています。私たちの考える自主・自律とは良いこと、悪いことを判断し自ら律することです。私たちは3年間を通じてこの力を培っていきます。また、今年度は生徒主体の学校づくりを学校全体(生徒・保護者・先生方)で行っていきます。その一環として昨年度に続き委員会活動の活性化に取り組みほか、クラブ活動の在り方などにも目を向けていきます。そして、コロナ禍以降の学校生活や行事の「新たな形」を模索します。



# 将来につながる基礎を身につける

## 基礎学力の定着と信頼関係の構築

法政大学での学びやその先の将来を豊かにすることをイメージし、基礎学力と学習習慣を身につけます。その過程で、共に学ぶ仲間・教員との信頼関係が築かれます。

Point 01  
基礎学力の定着と学習習慣の確立



英国数の3教科に重点を置き、基礎学力の定着と学習習慣の確立を目指します。国語では「読解」と「表現」の授業を、数学では1, 2年次「代数」と「幾何」に分け並行して学んでいきます。英語では「英語」「英会話」に加え、中1では「フォニックス」、中2・中3では「英語演習」の授業を展開しています。「フォニックス」では綴りや発音のルールを身に付けます。中1・中2は火曜と木曜の放課後に英語と数学の指名補習「リメディアル」を設置し、フォローアップを行います。

Point 02  
信頼関係の構築



入学後すぐに行われるオリエンテーションでは、クラスメイトだけではなく学年全体でも交流する企画を設け、その後の確かな人間関係づくりにつなげます。先生方とも、このオリエンテーションを通して仲良くなります。長い「法政」での生活の中で核となる友人、教員との信頼関係を中1の早い段階で構築します。学校生活以外の普段の日常生活の中で大切になる「自己と他者との関係の在り方」の教育も行っていきます。

中学校 教育課程	中学1年	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	道徳	特別活動	学習の時間	総合的な学習の時間	計 34 (36)
		5	4	6	3	6	1.5	1.5	3	2	1	1	(2)		
	中学2年	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	道徳	特別活動	学習の時間	総合的な学習の時間	計 34 (36)
	5	4	5	4	7	1	1	3	2	1	1	(2)			
	中学3年	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	道徳	特別活動	学習の時間	総合的な学習の時間	計 34 (36)
		5	4	6	4	6	1	1	3	2	1	1	(2)		

○2023年4月現在 ○学習指導要領の改定などにより、科目名・時間数に変更されることもあります。

# 将来を見据えた多彩な授業内容

## なりたい自分に向かって具体的に行動する

高校では文系理系といったコース分けをせず、生徒の多様な目標に対応するため高校3年間ですべての教科を学習します。自らの目的や進路に応じた発展的な内容の選択授業を通し、卒業後「自ら学ぶ」ことができる力を育てます。

Point 01  
学習と諸活動を豊かにする関係性の構築



高校から新たに加わる約100名の生徒と、法政中学から進学する約140名の生徒は、高1から混合クラスで生活します。そうすることで互いに新たな刺激を与え合い、学び合うことができます。高度になる各教科の学習と、諸活動との両立を図り、充実した学校生活を送るためには、友人関係やクラス・学年の団結力が重要となります。その新たな関係性を4月の入学後に行われるオリエンテーションで構築し、その後の様々な行事を経験することで団結力はさらに強いものに変化します。

Point 02  
大学進学後の専門的な内容やスキルの先取り



高2・高3での必修選択授業では、生徒自身が自分の進路に必要な知識や教養を獲得するためにも、自ら選択して学びます。自然科学や人文・社会科学、語学など文系と理系の両方の領域から選択でき、マスコミ、ビジネス、法学や簿記といった大学での学びの入門的な内容のものもあります。ゼミ形式の授業では、文献の輪読や調査、ディベートやプレゼンなどを生徒同士が協力して進めます。付属校ならではの、受験にとらわれずに「一歩先」をいくことができます。

高校 教育課程	高校1年	現代の国語	言語文化	地歴総合	歴史総合	数学I	数学A	生物基礎	体育	保健	音楽I or 美術I	コミュニケーションI	英語	論理・表現I	(学校設定科目)	英会話	家庭基礎	情報I	ホームルーム活動	計 34
		2	2	2	2	4	2	3	2	1	2	3	2	2	2	2	2	2	1	
	高校2年	論理国語	文学国語	世界史探究	公共	数学II	数学B	物理基礎	化学基礎	体育	保健	コミュニケーションII	英語	論理・表現II	必修選択	総合的な探究の時間	ホームルーム活動	計 34		
	2	2	3	2	4	2	2	2	2	1	4	2	4	1	1					
	高校3年	論理国語	文学国語	日本史探究	政治・経済	数学C	物理	化学	体育	コミュニケーションIII	英語	論理・表現III	必修選択	総合的な探究の時間	ホームルーム活動	計 34				
		2	2	2	2	2	2	2	3	4	2	8	2	1						

○2023年4月現在 ○学習指導要領の改定などにより、科目名・時間数に変更されることもあります。



## Experiences

体験談

# 法政中学で得た学び

### 暗記ではなく考えることの大切さ



#### こなすことが目標ではない学び

中学で本格的に始まる英語では、小学生の頃に英会話習っていたこともあって、それほど苦手意識はありませんでしたが、各学期に1度行われる英語のスピーチには、人前で英語を話すという緊張からよく言葉に詰まっていたこともあって苦手意識を持っていました。でも、クラスメートのスピーチを聞くうちに、ただ覚えたことを発表するのではなく、聞いてくれている人が楽しめるように話すことが大切だと感じました。そのため私自身、中学3年生の時のスピーチでは聞いてくれている人を楽しませるようなスピーチを意識するようになりました。それは英語のスピーチだけではなく、プレゼンテーション能力の向上にもつながったと実感しています。数学は進度がいいため、わからないことや疑問を持ったら自分から積極的に先生に質問することを心がけていました。その甲斐もあって毎回の授業の内容を理解して次の授業に臨むことができ、結果にもつながっていたと思います。法政中学の勉強では言われたことをこなすことを目指すのではなく、疑問を持ち質問することが大切なことなんだと感じました。私は小学校の

時、質問することが怖かったのですが、法政の先生方は生徒の質問に対して、とても丁寧に対応してくれて、理解できるまできちんと説明してくれるので、質問する怖さもなくなり安心もできました。

#### 覚えることより考えることの重要性

なかなか試験の結果が出ない教科でしたが理科は好きな教科です。法政中学での理科の授業では面白いエピソードや、雑談を交えながら授業してくれる先生がいたこともあって、授業そのものが楽しかったです。でもその授業では、単に「答えを覚える」のではなく「なぜその答えに至るのか」というその答えに行き着くプロセスが重要視されていたので、自分の今持っている知識を使って考える姿勢が身についたと思います。その姿勢は法政中学のどの授業でも重要視されていると思います。3年間の法政中学の授業を通して私自身「考える」癖がついたと思いますし、更に言えば生きる上でも大切な「考える力」が少しは身についたのかなと思います。でも物事を順序立てて考えることが私自身は苦手なので、それは今後の課題にしたいと思っています。

#### 高校での目標を具体的に持つことの出来る法政中学校

中学3年間を振り返ってみると、ある出来事について先生から多角的に質問されることが多いので、私自身の考え方がより複雑に創造されたと感じますし、学校生活を通して自己肯定感を高めることも出来たと思います。ですが、まだまだ「自分自身で考えて答えに至る」ということが出来ていないと思います。法政高校では、自分自身で考え、将来社会に出た時にどう行動し還元するのかといった問題意識を持って生活していこうと思います。法政中学は高校との一貫校なので中学での反省点や課題を明確にして高校に進むことができるので自分の成長につながると感じます。

高校2年 K.Y.



左:中3美術での卒業記念品作成の藍染め制作  
右:中学3年間の授業のまとめ



## Experiences

体験談

# 法政高校で得た学び

### 大学での学びを先取り、時間を有意義に使う



#### 大学に直結する学び

高校では法政ならではの「付属校らしい学び」ができたと思います。多くの授業の中からシラバスを読んで自分の興味に合わせて選択したり、100分授業に近い形の授業を体験したり、ゼミの中ではパワーポイントやレジュメを作って発表しました。大学に入学した後で必要となる様々なことに、事前に触れる機会を持つことができました。また、夏期・冬期休暇前の約2週間、自分で進路を選択するために先生方が特別講座を開講してくれます。そこでは普段の授業ではやらないような内容を学ぶことができます。高校1年生の時に経営やマーケティングの授業を受講したのがきっかけとなり、現在大学で学んでいる学問に興味を持ち始めました。その繋がりで高校2・3年生でも必修選択授業でマーケティング戦略に関するゼミを受講しました。

ある授業では、企業が主催しているビジネスコンテストに出場し、受賞をすることができました。コンテストでは企業に新サービスを提案するという内容で、プレゼンテーション相手を強く意識して発表に臨みました。後から振り返るとそれが受賞に繋がったのだと思います。それまで「相手がどのような人で何を考えているか」を意識することは少なかったのですが、このコンテストを通して得られた成果の1つだと思います。

#### 自分の好きや興味を見つける

法政高校では、自分の興味関心を広げることができました。私は高校から受験をして入学しましたが、入学前は高校・大学に行き就職するというルールのようなイメージが自分の中にありました。大学に行くこと自体に価値があると思っており、なんとなくそうした方が良さそうだからという理由で付属校を志望校にしました。しかし、高校入学後、必修選択授業や夏期・冬期特別講座など様々な授業や行事のお

かげで、興味のある学問に出会うことができました。今ではその内容を深く学ぶために大学に通っています。高校1年生のうちから自ら進んで色々な分野に触れておくことは、大学で何を学びたいかを考える上で役に立つと思います。

#### 受験勉強に取られない時間を活かすかどは自分次第

法政高校は色々な選択ができる自由度が高い学校だと思います。例えば特別講座ではどの講座を取るか自分で選ぶことができますし、ゼミでの発表も具体的な内容を自ら考え、工夫をすることができます。受験勉強が無いための他校生よりも時間がありますが、その空いた時間を何に使うか考える必要があると思います。そのために高校1年生から色々な分野の学問に触れ、ゼミの授業や部活動、学校行事などに勤しむことで、将来を見据えて自分のために時間を使うことができ、大学では空きコマがあるので時間の使い方が更に大事だと気付きました。高校生から意識していたことがとても役に立っていると感じています。

大学2年 S.Y.



総合ゼミでのプレゼンテーションのために準備した資料

法政大学  
推薦資格取得者

[2022 年度卒業生 232 名]

97.4%

推薦資格  
取得者 226 名

法政大学進学実績		人間環境学部 人間環境学科 12	
法学部	法律学科	16	福祉コミュニティ学科 1
	政治学科	7	現代福祉学部 臨床心理学科 3
	国際政治学科	6	キャリアデザイン学部 キャリアデザイン学科 9
文学部	哲学科	3	スポーツ健康学部 スポーツ健康学科 4
	日本文学科	6	グローバル教養学部 グローバル教養学科 1
	英文学科	4	情報科学部 コンピュータ科学科 3
	史学科	3	デジタルメディア学科 4
	地理学科	3	建築学科 4
	心理学科	3	デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 4
経済学部	経済学科	16	システムデザイン学科 4
	国際経済学科	9	機械工学科 (機械工) 0
	現代ビジネス学科	5	機械工学科 (航空操縦) 0
社会学部	社会政策科学科	7	電気電子工学科 0
	社会学科	12	応用情報工学科 0
	メディア社会学科	8	経営システム工学科 4
経営学部	経営学科	12	創生科学科 2
	経営戦略学科	8	生命機能学科 1
	市場経営学科	8	生命科学部 環境応用化学科 1
国際文化学部	国際文化学科	9	応用植物科学科 1

法政大学進学者 203 名



**市ヶ谷キャンパス** 法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン・GIS・デザイン工学部

**多摩キャンパス** 経済・社会・現代福祉・スポーツ健康学部

**小金井キャンパス** 理工・生命科学・情報科学部

法政大学への推薦入学基準 2023 年度現在

Standard 01

**高校3年間の  
総合成績**

Standard 02

**英語資格試験**  
英検、TOEIC Bridge、TOEFL など

Standard 03

**基礎的思考力  
確認テスト**



To Next Stage

進学

法政大学への高い進学率  
付属校のメリットをいかし、進路を切り拓く

大学付属ならではの進路指導——高校の段階から、大学での学びや現役の大学生に触れ、将来の自分をイメージし、「なりたい自分」に向かって行動を開始します。

Merit 01

高3「3学期プログラム」

高3の12月、法政大学への進学が決定した生徒は、進学する学部学科が内定してから3月の卒業までの期間、「3学期プログラム」に取り組むことになります。大学進学後、もしくはその先のステージで必要となる力は「自ら問題や課題を発見し、それを解決に導いていく力」です。その力を身につけるために①「卒業論文(10000字以上)」が「卒業レポート(2~3000字程度)」の作成②指定単位数以上の「特別講座」の履修、以上2つの課題に取り組むことになります。①の課題では自ら問いを持ちその問いへの答えを模索し他者に提案するといった大学でのスタイルを先取りして体験し、②では進学後の自分を見据え必要になる幅広い知識や見聞を深めるための講座を選択し学ぶことを目的としています。この2つの柱で将来に必要な力を身につけてもらいます。

Merit 02

OB・OG 講演会



法政大学に進学した卒業生を各学部から招き、どんな夢や目標を持ち、大学でどんなことを学んでいるのか、そのために高校時代にどんなことが大切なのかなどをテーマに講演してもらいます。「なりたい自分」をイメージするためには、大学で活躍している卒業生の姿や話は大きいに参考となります。高校2年生の冬に行われるOB・OG講演会をきっかけに、自分の進路をより具体的なものにし、高校3年次の学習につなげていきます。

Merit 03

高大連携プログラム

法政大学のアイデンティティや教育目標を理解するための法政大学主催のプログラムとして、高校2年生の7月に実施している高大連携プログラムは、「大学で学ぶ意義」と題した講演をはじめ、座談会、付属校生へのメッセージと質疑応答などを行っています。その他にも希望者を対象として、理系学部の授業を体験できる「ワンデーサイエンスカレッジ in 法政小金井キャンパス」(8月実施)や「HOSEI Summer English Camp」(8月実施)という、法政大学の留学生との交流など、様々な高大連携のプログラムがあります。

Merit 04

進路情報室

高校卒業後の進路を決定していくにあたって、生徒一人ひとりに合わせてサポートできるよう進路情報室を設置しています。ここでは 教員や職員と面談・相談することができ、幅広い分野の中から、自分にあった進路選択ができるようにサポートしています。法政大学の各学部の研究内容をはじめ、他大学入試に関する情報など、様々な資料や情報を生徒に提供しています。

Message

法政大学総長から法政大学中学高等学校生へのメッセージ

法政大学の教育、研究、社会貢献の理念を表明しているのが、大学憲章「自由を生き抜く実践知」です。いま社会に必要だと提起されている多様性の尊重や、先見性、実践力などを重視しています。そして、法政大学中学高等学校で学ぶ生徒たちは、大学から入学してくる学生たちよりも早い段階から、この教育理念に沿った学びを経験して育っていくことになります。生徒たちの自律性を重んじ、知的な探究に積極的に取り組み、その学びの成果を効果的に表現し、幅広く共有できる力を育てることを、法政大学の付属校教育はめざしています。そして、法政大学に進学してからは、大学憲章の理念を体現した学生として、他の入試経路を経て入学してきた学生たちに、法政らしい学びのロールモデルとなることを期待されています。

実際に、法政大学中学高等学校出身の学生たちが、あるいはゼミで、あるいは課外活動において、主導的な役割を果たしている姿を大学ではよく目にします。そして、全国、全世界から集う多様な学生たちの中において、その違いを大切にしながらも、一致できる共通点を見出して、同じ目的達成のために行動していけるリーダーとなっています。そんな先輩たちに続く生徒たちを期待しています。



法政大学 総長  
廣瀬 克哉

他大学への進学

現行の推薦制度では、法政大学への推薦権を保持したまま、一定の条件のもとで、他の国公私立大学を受験することが可能です。生徒一人ひとりの進路選択を、担任や進路情報室と連携してサポートしています。

2022 年度 他大学合格実績抜粋

学習院大学	昭和薬科大学	東京薬科大学	立教大学
慶應義塾大学	中央大学	日本体育大学	早稲田大学
上智大学	昭和女子大学	明治大学	

Interview  
with  
Graduates

K.R.

住友商事株式会社 2012年度卒業

### まずは夢を持つこと そしてそれに向かって行動していくこと

#### ●在学中に印象的だったこと

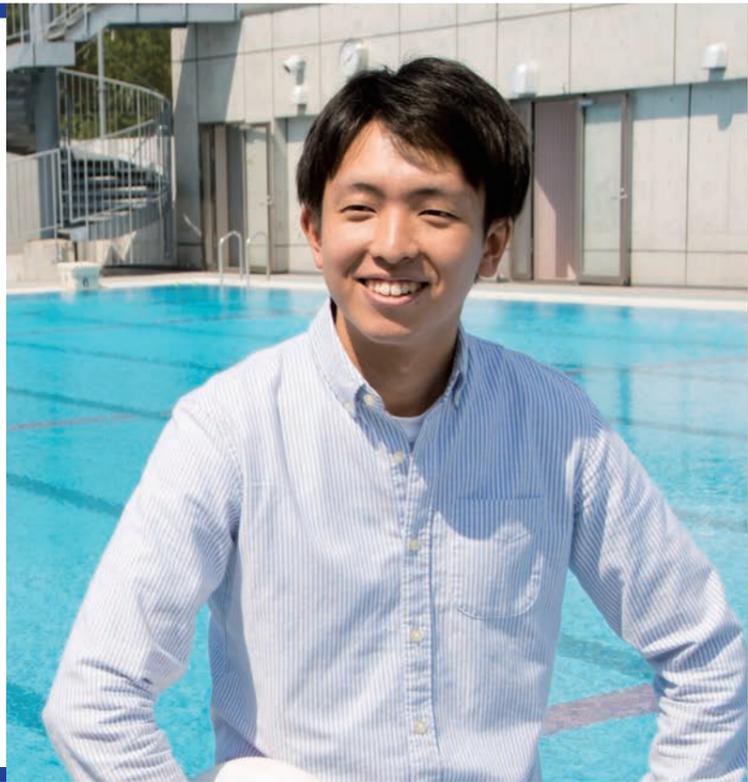
様々な授業、テスト、水泳部での活動、卒業論文の執筆など思い出は多いのですが、オーストラリアでのホームステイや、海外修学旅行(シンガポール)、ドイツ派遣等海外に触れる機会が多かったことにとっても感謝しています。海外に興味を持つ要因の1つになったと思います。

#### ●現在の進路を志望した理由

大学進学後、留学などの経験を経て海外で国際協力を携わるのが将来の夢となりました。民間企業の立場から、自社・顧客・社会にとってwin-win-winのビジネス(=国際協力)を行いたいと思ったことがきっかけで、社会の根底を支える社会インフラに携わる業界を志望し、最終的には現在の会社に入社を決めました。

#### ●在学中に経験して、今の職業に活かされていること

部活動と学校外のスイミングクラブの活動を両立するには多くの葛藤がありました。最終的にはどちらもやり切ると腹を決めたわけですが、この時の考え方や、その後の行動は今も大切にしています。出来るだけ全てやるということ意識して生活しています。



Interview  
with  
Graduates

F.N.

株式会社バンダイ 2012年度卒業

### やってみたいことはどんなに小さなことでも チャレンジすることが大事

#### ●在学中特に印象に残っている出来事

実行委員としてシンガポール修学旅行の実施要項作成に関わりました。きちんと読んでもらえるよう内容を工夫して作成すると、皆楽しそうに真剣に読み込んでくれました。この経験から日々の生活に関わる商品をもっと面白く豊かなものになりたいと考え、現在の就職先の玩具メーカーを志望しました。現在は子どもの日常生活を応援できるような商品づくりを目指し、企画開発を担当しています。

#### ●在学中に経験して今の職業に活かされていること

自分の考えをまとめ、伝え、実行するための思考力です。生徒主体の学校行事や部活動の中で先生方は生徒同士で考える機会をたくさんいただきました。その結果、社会人としてのベースの考え方を高校時代の経験から身につけることができました。また選択授業やゼミのプログラムは幅広い選択肢から興味のある分野を選択することができたおかげで、自分が将来何をやりたいのかを早めに明確にすることができました。大学の付属校だからこそ、本当に自分がやりたいことを探す時間と気づきかけがたくさんありました。



## Interview with Graduates

卒業生インタビュー

### 法政中高のその先 社会にはばたく卒業生

2万人を超える卒業生を輩出している法政大学中学高等学校。その中には、自分の中高時代を懐かしみつつ、再び母校を訪れるOB・OGも多くいます。まさに、校歌にある「よき師よき友 つどひ結び」の精神。彼らが、なぜ再び母校に帰ってきたいのか、その魅力とは何か——卒業生に聞いてみました。

Interview  
with  
Graduates

M.R.

2019年度卒業 法政大学 法学部 法律学科4年

### 高校時代の当たり前の毎日が かけがえのないものと感じました

#### ●現在の進路(学部・学科)を志望した理由

高校で、政治に左右される国民や憲法、人々の権利について学び「法律は国民を助けるためにあるのに、政府の決定により効果があまりないのでは」と考えました。全ての人が法律の下で安心して暮らすにはどうすればよいか、この疑問を解消するために、法学部を志望しました。

#### ●在学中に学んで現在活かされていること

硬式テニス部に所属し、周囲の人に感謝すること、たくさんの方が気持ちよく過ごせるように配慮をすることを学びました。その経験により現在のアルバイト先では、上司やお客様から良い評価をいただくことが多くあり、大変だった部活を乗り越えたことが今につながっているのだと実感しています。

#### ●これからの人生において目標としていること

大学生になり気づいたのは、高校時代の大切さです。高校生だったときは当たり前だった毎日がいかに素晴らしかったかを理解しました。人は物事が終わった時に、その物事の大切さを実感するのだと思いました。今後、大学時代を振り返った時、悔いのない毎日だったと思えるよう、大学生活を大切に過ごしていきたいです。



Interview  
with  
Graduates

S.Y.

2019年度卒業 法政大学 経営学部 経営学科4年

### 将来に向けて自分で考え 付属校の環境を最大限活かして欲しい

#### ●在学中、特に印象に残っている出来事

高校3年次に履修していた授業で出場したプレゼンテーションの大会では、私がリーダーを務めたチームが全国大会に出場しました。先生方にも沢山相談に乗っていただき、休日学校に集まり準備しました。出場するまでの過程も含め、とても貴重な経験をする事ができました。

#### ●在学中に学んで現在活かされていること

ゼミ形式の授業では発表が多くありました。私は資料やデータを集めるため、対象の企業の社員の方に直接お話を伺ったり、お店で覆面調査等を行ったりしました。今の時代、情報は簡単に手に入りますが、まずは自分の頭で考え行動するという習慣は現在に活かされています。

#### ●これからの人生において目標としていること

大学3年次に公認会計士試験に合格しました。大学卒業後のファーストキャリアとしては内定を頂いた外資系ファームで公認会計士というプロフェッショナルとしての研鑽に励むこととなります。これまでの「学び」で得た経験を活かし、自分なりの新しい形で世の中に価値を提供できるようなキャリアを歩んでいきたいと思っています。



Hosei Events Calendar

行事カレンダー

生徒主体の行事



4月 入学式・オリエンテーション(中1・高1)

入学して最初の行事では、楽しく活動しながら法政中高について知り、新しい友達とクラスの団結を深めます。



4月 生徒総会(中高別開催)

生徒全員が会員の法政中高生徒会です。全員で1年間の委員会の活動方針を討議します。



6月 陸上競技大会(中学)

1学期のメインイベント。クラスで力を合わせて行事に臨みます。



6月 スポーツ大会(高校)

1学期のメインイベントであり、年度の最初の大きな行事です。クラスで力を合わせ競技に臨みます。



7月 高大連携プログラム(高2)

法政大学のアイデンティティや教育目標を理解するためのプログラムを実施しています。



7月 文化行事(高校)

合唱を行い、仲間と一丸となって優勝を目指します。誰もが一生懸命になれる行事です。



9月 鈴掛祭

2学期のメインイベント!生徒主体となって作り上げる行事の達成感を共有することで学校全体が1つにまとまります。



7月 林間学校(中2)

ハイキングや飯盒炊さんなど、自然の中で宿泊を伴う体験活動を通して団結を更に深めます。



7月 芸術教室(中学)

様々な芸術鑑賞を通して、楽しみながら豊かな感性を育みます。



12月 OB・OG講演会(高2)

大学に進学した卒業生から話を聞き、自分の進路をより具体的に考え始めます。普段聴くことの出来ない貴重な機会です。



3月 修学旅行(高2)

高校生として最後の宿泊行事です。沖縄では美しい自然に癒されると同時に平和についても改めて身近なこととして考えます。



12月 東京ウォーキング(中1)

グループで都内の史跡を巡り、歴史を肌で感じます。事前の調べ学習に始まり事後報告を行う過程を学びます。



12月 修学旅行(中3)

例年12月に広島・長崎での修学旅行を行います。現地で体感することで平和について多くの学びを得ます。



12月 フィールドワーク(中2)

OB・OGを始めとする社会人にインタビューを行い、自分の将来を考え始めます。



3月 スキー教室(中1・高1)

中学生・高校生共に初めての宿泊行事です。長い時間をともにすることで更に仲が深まります。

# 本物に 触れる 体験



「自主・自律」の精神で主体的・積極的に活動し、仲間とともに学校生活を上げる達成感。

中学校では様々な現地での体験学習や社会に触れる活動を通して、自らの興味関心を広げ知的好奇心を育みます。特に12月に行われる東京ウォーキング(中1)・フィールドワーク(中2)・修学旅行(中3)では、事前の下調べに始まり、現地での調査や体験を終えたのち、学んだ内容をまとめ、発表するという学びのスタイルを作り上げることで、高校での高度な学びに耐えうる基礎力を養います。また様々な行事の中で育んだ興味関心や自分の「好き」を高校での探究活動やその後の卒業論文執筆や卒業研究へと繋げていきます。さらに学校行事を生徒実行委員会が主体となって企画・運営をすることで自主性を培います。中学3年生では教員と話し合いながら行事のほとんどの部分を生徒が自ら作り上げていきます。知識偏重型の学びではなく実際に現地を訪れ、本物に触れることで育まれる様々な知性を伸ばします。

※2020年度以降は状況に鑑み、一部内容を変更しながら可能な限り実施をしています。

## 生徒主体の行事運営を通して達成感を共有する。

### 中2 林間学校

野外活動を通して自然に親しみ、互いに協力し目標を達成することの大切さを学び、集団生活において親睦を深めることを目的として例年7月に実施しています。自然の中で仲間とハイキングや飯盒炊さん・その他体験学習など、日常生活で体験する機会が少ない活動を通して自然と触れ合うことができます。その中で自主的・主体的な行動が増えて成長することができ、同時にクラスや学年の結束が高まります。



### 中学 芸術教室

芸術鑑賞を通して豊かな感性と創造性、コミュニケーション能力や想像力のなどを育むことを目的として、ミュージカルや舞台などの劇場に足を運んで観劇したり、音楽や古典芸能の鑑賞をしたりします。過去には劇団四季や弦楽四重奏などの鑑賞をしたこともあります。多様な種類の芸術文化に触れることで、様々な感情を体感し感受性や感情表現が豊かになっていきます。



### 高校 文化行事

例年7月に行う高校文化行事では、仲間と共に様々な文化・芸術に触れることを目的として実施しています。近年は合唱を行っています。期末試験後の日程で、各学級で曲を決め、コンクール当日に向けて練習を重ねます。コンクールという性質上順位はつきませんが、合唱のすばらしさや歌うことの楽しさを感じ、何よりもクラスの団結を深めることのできる行事です。(コロナ禍では合唱は実施していません。)



### 中1 高1 スキー教室

「生涯スポーツであるスキーを体験し、技術力の向上を図る」、「集団生活を通して、各自の任務・役割に責任を持ち、相互に協力する」、この2つを目標に掲げ、生徒実行委員会を中心に作り上げる行事です。中1は3泊4日、高1は2泊3日の日程で実施します。実習班は技量に応じて編成されます。スキー技術の上達によって得られる達成感と、仲間と寝食を共にすることで親睦が深められることがこの行事の大きな魅力です。



#### 高校スキー教室実行委員長



高校2年 S.S.

スキー教室実行委員会では「起承転結」というスローガンを掲げて活動しました。学年全体の宿泊行事は初めてで、不安もありましたが、協力し合い目標を達成することができました。将来に向けて、新しいことに挑戦し、仲間と協力する大切さを学ぶ機会となりました。学年全体が一丸となり、目標に向かう姿勢が学年の結束力を高め、個々の成長にも繋がりました。今後もこの経験を活かし、学校生活やこれからの人生でもチームワークを大切にしていきたいです。



### 中1 東京ウォーキング

東京都内の歴史的各所・史跡を巡り、その歴史を知るという目的で例年12月に実施しています。1班5〜6名で班を作り、フィールドワーク形式で都内各所を歩く校外学習行事です。事前調べ学習、コース作成、当日の見学、事後まとめ学習、といった一連の学習サイクルを学び、次年度の校外学習の基礎作りをしています。生徒たちが主体的に学び、また仲間と共に行事を作り上げていく、本校らしい手作り感溢れる行事の一つです。



#### 中学文化祭実行委員長



高校1年 K.Y.

鈴掛祭は例年秋に開催され、本校生徒が主体となって実施しています。昨年は一般公開は叶いませんでしたが、保護者の方々に私たちの活動の成果を見てもらうことができました。活動を通して感じたことは、生徒一人ひとりが輝ける場であるということでした。私自身も要領が悪く器用なタイプではありませんが、周囲に助けられ支えられました。生徒たちで苦しいことも補い合い励まし合って創り上げました。互いの違いを認め合い「自主・自律」の精神を掲げている本校の雰囲気を感じることができると感じています。



### 中2 フィールドワーク

働くとは何かを考え、自らのキャリア形成のきっかけとする目的で例年12月に実施しています。事前学習では働く意義について深め、実際に多様な職業について調べ現地を訪問しインタビューし、考えたことをまとめ発表をします。社会の多様な分野で働き、活躍をしているゲストと直接繋がりを話すことで様々な考えに触れる機会となります。多くの大人と関わる中で、自らと向き合い自分の未来について考え始めることができます。



### 中学 高校 文化祭(鈴掛祭)

例年9月に行われる文化祭では、クラスごとに企画を考え来場者を楽しませます。生徒が中心となり各クラスで企画の計画から当日の運営までを行う中で、集団で協働する力を育みます。これらの活動を通してお互いの良さや違いを認め合える関係性を築き、集団としてのまとまりや団結力を高めます。教室の装飾や動画編集など、1人ひとりが個人の得意分野を活かして企画を作り上げます。また委員会やクラブ、有志企画など普段の活動を発表する機会となります。



### 中3 中学修学旅行

中学3年生の修学旅行は広島・長崎での平和学習です。修学旅行は3年間に渡って継続してきた調べ学習の集大成となります。事前に見学場所を調べ、自分たちで決めたコースに従ってガイド集を作り、当日はそれを用いて実際に見学・体験をします。その後、結果や感想をまとめて報告会を行ったり、報告集を作ったりします。授業では、現地での理解を深めるため、歴史的背景や被爆者の記録書、原爆の原理などを学習します。



### 高2 高校修学旅行

高校2年次に4泊5日で行われる修学旅行は、シンガポールと沖縄の選択制です。シンガポールでは、歴史や急速な経済成長を遂げた国作りについて学びます。また、隣国マレーシアに渡り、現地の人との交流を図ります。沖縄では戦跡を巡る平和学習の他、コース別に分かれ自然探索やマリンスポーツなどの体験を行います。



生徒×教員  
対談 中学生編

■生徒コメント ■教員コメント

— 2人はなぜ修学旅行の  
実行委員になろうと思ったのですか？

生徒H: 私たちの学年は3年間コロナ禍だったので、この修学旅行が中学生生活最初で最後の宿泊行事でした。なので、自分の力で成功に導きたいという思いが強くなりました。

生徒K: 私もHさんと同じで、自ら積極的に関わって最初で最後の宿泊行事をよりよいものにしたいと思立候補しました。

教員S: たしかに当時を思い出すと、実行委員のみんなからは、自分たちの力で修学旅行を盛り上げるんだという熱意がひしひしと伝わってきていました。

教員K: 修学旅行を実りあるものにしようと積極的に関わろうとしてくれて、たいへん心強かったですよね。

教員S: はい、その熱意が学年全体に伝わって、楽しい修学旅行になったのだと思います。

— 修学旅行実行委員の活動の中で  
大変に思ったことはありますか？

生徒H: 修学旅行の間近は、毎日放課後、学校に残って現地で奉納する千羽鶴の作成やしおりの作成をするのが大変でしたが、委員会の仲間と協力して楽しく作業をすることができました。委員長としては、集会の際の挨拶を考えることに苦労しましたが、みんなの見本となるよう責任感を持って取り組みました。

教員S: 実行委員の仕事は、華やかな面よりもむしろ裏方で地味な仕事の方が多かったと思います。それに責任もある役目なので、な

かなか気が抜けなかったと思います。Kさんはどうですか？

生徒K: 私は活動日数の多い部活動に所属しているのですが、実行委員の仕事は事前学習から事後学習まで長い期間に渡るので、委員会と部活動の両立に苦労しました。また、クラスのみならず寄せられた意見や質問をみんなの気持ちに伝えられるようにまとめるのが大変でした。

教員K: 事前学習から事後学習まで1年間をかけて学びを深めました。広島・長崎を題材にした平和学習や夏休みの読書課題を経て、行動班ごとのテーマ設定、コース作り、見学地の下調べを丁寧に行って修学旅行に行きました。修学旅行後もまとめ学習をしてプレゼンテーションを行いました。どの班も協力して粘り強く取り組むことができたのは、実行委員の実力と努力の賜物だと思います。

— 実行委員として特に意識して  
頑張ったことはありますか？

生徒K: 初めての修学旅行にみんなの期待が大きくなっているのを理解できるからこそ、どうすれば実行可能な範囲で、みんなの期待に添えるかを常に意識していました。学年全員にとって最高の思い出が作れる行事にしたいという思いで、1つ1つのことに精一杯取り組みました。

生徒H: 修学旅行当日、戦争の体験をお話くださった方々をはじめ、この修学旅行に関わってくださった方々に対して感謝の気持ちを忘れないうち自身も意識するだけでなく、周りにも声をかけることを意識しました。

教員K: みんなとのコミュニケーションを大切に、お互いを尊重しながら意見を出し合

い、物事を組み立てようとする実行委員の姿勢が本当に素晴らしかったと思います。

教員S: そうですね。実行委員として生徒の意見を聞き、可能な範囲で、それに応えていくことも大切です。自ら率先して全体の場の雰囲気を作っていくことも大切です。2人とも重要なことに気づけましたね。

— 最後に修学旅行実行委員の活動を通して  
学んだことを教えてください。

生徒K: 行事の成功の裏には、たくさんの人たちの協力や支えがあることに気づきました。苦労したことはたくさんありましたが、みんなと一緒に乗り越えることができ、達成感を得られました。実行委員になったおかげで人前で話す自信が付き、自身自身の成長も感じるようになりました。

生徒H: 私も委員長を経験して人前で話すことに自信ができました。実行委員では、みんなで力を合わせる大切さを学ぶことができました。しおりの作成など委員全員で作上げるものが多かったためです。今回学んだことをこの先も生かしていきたいと思っています。

教員S: 他クラスと連携したり、教員や旅行者などの大人と多く関わったり、人前で発表したり、実行委員の活動を通して、社会に出たときに求められる総合力を高めることができましたのだと思います。この経験を高校生活の中でも生かしてさらに飛躍してください。

教員K: 2人は委員長、副委員長として特に大変だったと思いますが、たくさんの貴重な体験と学びができた1年だったと思います。成長や達成感を実感しながら、実行委員で得た学びを未来に生かしていってください。

生徒×教員  
対談 高校生編

■生徒コメント ■教員コメント

— 3人が修学旅行の実行委員をやろうと  
思った理由を教えてください。

生徒N: 高校1年のスキー教室の実行委員をやった時とてもやりがいを感じたからです。高校でしか体験できないことだと思ったことも理由の1つです。

生徒A: 高校生活で一度しかない修学旅行をよりよいものにしたいと思ったからです。高校に入ってからずっとコロナ禍で様々な行事が中止になったり、縮小されたり心残りがあり、せっかくの高校最後の宿泊行事を一人ひとりが思い切り楽しめるようにしようと思いました。

生徒T: 私は、今までこのような実行委員をしたことがなく、新しいことに挑戦してみたいという気持ちや、高校最後の修学旅行をみんなにとって充実したものになりたいという思いから、やることにしました。

教員S: 実行委員を経験すると人を動かす大変さや達成感など様々なことを学べたのではないのでしょうか。

— 修学旅行実行委員の活動の中で  
何が大変でしたか？

生徒N: 実行委員長だったこともあり、バスの座席決めや戦争を体験した方へのお礼の言葉など、多くのことを任せられました。私は大勢の前で話すことは得意ではなかったのですが、人前で話さなければならない時が一番大変でした。また先生方と意思疎通をとりながら現地でもみんなをまとめるのも大変でした。

生徒A: 新型コロナウイルスの感染対策を徹底する必要があり、委員会でどこまでルールを決めるかすごく悩みました。また、出発当日の朝、電車が止まってしまい、時間通りに空港に到着できない人が私も含めて多くいて、朝からすごく焦った記憶があります。

生徒T: 特に大変だったことは、事前の行事予定作成です。修学旅行のしおりは実行委員全員で協力して作成しました。慣れない作業に苦労しましたが、できた予定表をみんなが見やすいと言ってくれた時は、とても嬉しかったです。

教員K: 今回は新型コロナウイルス感染対策に加え飛行機のトラブルなどもありましたが、S先生は生徒の活動をどう見られていましたか？

教員S: 修学旅行の日数短縮やルールの変更など、例年の流れとは違いましたが、実行委員はよく動いてくれました。修学旅行のしおりをデータ化するなど、沢山の工夫も見えました。

— 実行委員として特に意識して  
頑張ったことはありますか？

生徒T: 私が特に意識したのは、当日クラスの人たちをまとめることです。楽しくなる気持ちも尊重しながらメリハリを大事に、スムーズに行事が進行するように実行委員で協力し、工夫しました。

生徒A: コロナの影響で修学旅行の期間が短縮になってしまったため、予定が詰まっていた忙しく、窮屈に感じている人が多い印象でしたが、そんな中でも全員に楽しんでほしかったので、常に笑顔で過ごすようにして、少しでも楽しんでもらえるように意識

していました。  
生徒N: 私も、みんなが修学旅行を楽しみ思い出として残せるように、ということ意識していました。また、どうしたらみんなが動いてくれるか前に立つ人の悩みがよく分かりました。

教員S: 今回の修学旅行は日数短縮で非常にタイトなスケジュールの中、実行委員は楽しみながらも時間を気にして行動ができていました。素晴らしい点だと思います。

— 最後に修学旅行実行委員の活動を通して  
学んだことを教えてください。

生徒T: 今回の実行委員では、慣れないことに沢山挑戦しましたが、慣れないことでもみんなの協力やしっかりとした準備があれば、問題なくできるのだと思いました。今後、この経験を生かせるような機会があった時には、協力・準備・工夫をして成功させたいと思います。

生徒A: 今回の活動の中で特に大切だったことは、自分に与えられた役割を責任を持って行うことです。また責任とは別に、周りを見て行動するという大切さに気がつくことができました。

生徒N: 私は実行委員に入ってみて、学校ではない場所でみんなに指示すること、人前で話をするなどの難しさを学びました。実行委員になって、今まで自分ができなかったことや得意なことやチャレンジする機会を得ることができて本当に良かったと思います。

教員S: この経験は普通の学校生活ではできないことです。実行委員は人生においても貴重な経験をしたと思います。今後の学校生活、日常生活に活かしていってほしいです。



## International Exchange

国際交流

# コミュニケーション能力を高め国際性を養う 生きた英語を身につけ、多様な文化を受け入れるために

将来、グローバル社会で活躍するためには、コミュニケーションツールである外国語を身につける必要があります。本校では英語を「使う」ことで、生きた英語を身につけることに重点を置いています。また、英語だけでなく外国のさまざまな文化に目を向けることも重要です。その機会として、本校では生きた英語の環境に身を置きながら、多様な外国の文化に触れる海外研修プログラムを中高それぞれで実施しています。実際に現地へ行き、日本とは異なる多様な文化にも触れる体験から、一人ひとりの可能性を広げ国際性を養います。さらに、毎年、世界各地から数名の留学生を受け入れています。受験だけにとらわれない付属校だからこそ、国際交流を盛んに行い、多様性を認め合える人間性の涵養に努めています。



### 海外研修プログラム

#### Program 01

#### 夏期カナダ研修

**中学** 2023年度については、中学3年生の希望者を対象に「本校での通学型オンライン研修」を実施する予定です。海外とオンラインで繋がり会話をしながら文化交流をはかり、英語力の向上の一助となる研修を行う予定です。

コロナ禍の影響で2024年度以降のプログラムは検討中です。  
※写真は高校生希望者を対象とした2018年度夏期カナダ研修のときのものです。



**高校** 夏期にブリティッシュ・コロンビア州、ビクトリアで約2週間、ホームステイしながら現地校 (Royal Roads University) に通います。大学構内でカナダの自然保護や環境保全の実例や意識について学び、オフキャンパス研修やアクティビティで、実際の現場を体験します。すべてのプログラムは、Royal Roads Universityの監修により、英語で行われます。

英語で学び英語で発信していく力を身につけるだけでなく、社会性と国際性をはぐくむ機会となります。

#### Program 02

#### 高校 認定海外留学奨学金制度

本校の報奨制度により、高校2・3年生の成績優秀者がドイツのオステー・ギムナジウムに派遣されます。

#### Experience Note



私にとって初めてのヨーロッパへの旅であり、かつ初めてのホームステイでもあったので、全てが新鮮で刺激的で、非常に濃密な時間を過ごすことができました。  
写真でしか見たことがないヨーロッパの建物を見ることができたり、英語でたくさん会話ができとても嬉しかったです。

今回の留学で印象的だったのは、ドイツの国民性や社会意識です。アニマルウェルフェアの認証がされている商品を積極的に買う人や、ビーガンの人など、環境保全へ高い意識を持っている人が多く、スーパーでは、どんな商品にもビーガン用のものが同じ棚に並べられているなど、社会全体での意識の高さに驚かされました。

2週間という短い期間ではありましたが、自分に新しい価値観をもたらしてくれて、成長させてくれた充実した時間でした。今回の実施に携わって下さった方々に深く感謝申し上げます。

高校3年生 T.H.

### 国際交流体験記

#### S.F. (2022年度外交官プログラム参加)

高校生外交官としての経験が私の目を覚ましてくれた—アメリカへの渡航が大きくなった当初、「私は異文化交流がしなかったのに」と悔しく思っていました。しかし、私はこのプログラムで異文化交流をし、大きく成長することができました。

特に印象に残っているのは、班のメンバーが戦争抑止のために核が必要だと言っていたことです。私は、核はあってはならないとしか考えたことがなかったのでとても驚きました。この時、同じ日本人でもこんなに違った考えを持っているということを実感し、一気に視野が広がりました。それまでの英語で外国の人と話すこと自体を異文化交流のように考えていた自分にハッと、同時にその本質は新しい価値観に触れることだと気づくことができました。それからは、英語自体を目的にするのではなく英語を使ってもっと新しい考え方に触れたいと思うようになりました。

今私は、このプログラムに参加する以前の自分は学校の成績ばかりを気にしてあまり挑戦をこなさなかったと少し後悔しています。

チャレンジすることにおいて、この法政中高は最高の環境だと思います。ぜひ後輩の皆さんには、勉強も学校の外での経験も大切にできるこの学校のアドバンテージを生かして、たくさんチャレンジしてほしいです。

#### Y.T. (2020年度長期海外留学生)



私は、高校1年次にアメリカのテネシー州に留学しました。コロナウイルスの影響もあり約7ヶ月の滞在になりましたが、現地の学校に通いホストファミリーの家で生活していました。普段英語の授業で習ったことはなかなか実践できずコミュニケーションの観点から言ったら全く太刀打ちできず最初は苦戦しました。しかし学校での友達との交流や、ホストファミリーとの生活の中で少しずつ感覚がつかめるようになり、自分にとって大きな成長になりました。3年間という短い高校生活の中で留学という経験をできたということはとても大きな成長とともに新しい考え方、世界観をもたらしてくれました。



Club Activities  
部活動

クラブ活動  
深まる仲間との絆



Bonds with fellows

## 付属校ならではの環境で 新たな自己を発見する



課外活動に心置きなく打ち込める環境

学年を超えた人間関係から多くのことを学びます。

クラブ活動は、単なる趣味の延長ではなく、クラブ活動でなければ得られない多くの経験や学びがあります。学年を超えた集団での活動は、人間関係も広がります。また強い絆で結ばれた仲間を見つけたり、協力しながらやり遂げる喜びを味わったりできます。また根気強くやり遂げる強い心を培うこともできます。クラブ活動や課外活動などに主体的に取り組み、新たな自分を発見して、自分の可能性を広げることができます。クラブ活動などを通じて自分を客観的に見つめ、学習や生活、将来の進路を考えます。

## Club Line up

### クラブ紹介

アイスホッケー部 高校	弓道部 高校	剣道部 中学 高校	硬式テニス部 高校	硬式野球部 高校
ゴルフ部 高校	サッカー部 中学 高校	水泳部 中学 高校	スキー部 中学 高校	ソフトテニス部 中学 高校
テアリーディング部 高校	バスケットボール部 中学 高校	バレーボール部 中学 高校	軟式野球部 中学	ラグビー部 中学 高校
陸上競技部 高校	英語研究部 中学 高校	演劇部 中学 高校	音楽部 高校	華道部 中学 高校
茶道部 中学 高校	美術部 中学 高校	ブラスバンド会 中学 高校	放送会 中学 高校	

グラウンド



整備された人工芝。体育の授業や部活動などで、汗を流します。

体育館メインアリーナ



地下1階から4階屋上までアリーナやプールなど様々な施設があります。

プール



屋外にある25mプールです。男子は6月、女子は9月に体育で水泳の授業を行います。

テニスコート



体育棟の屋上にハードコート2面のテニスコートがあります。

弓道場



伝統ある弓道場です！

剣道場



体育の授業やクラブ活動で使う剣道場は体育館地下にあります。

Campus

豊かな緑に囲まれた環境

中高6学年が共に学ぶ、附属校らしい充実した教育環境

体育施設

グラウンドは全面人工芝。体育館は地下1階、地上3階建て。メインアリーナ、サブアリーナ、屋外プール、屋上テニスコート以外にも3階には走路とトレーニングルーム、地下1階にトレーニングルームと部室があります。



中学棟

1階に中1、2階に中2、3階に中3教室が配置され、ガラス張りの螺旋階段で各階が繋がっています。各フロアの中心に学習室があり、工作室、被服室、調理室、音楽室があります。高校棟とは各フロアでつながっています。

高校棟

地下1階に高1、1階に高2、2階に高3教室が配置され、学習室、理科室、社会科教室、美術室があります。地下1階から3階までは吹き抜け部分もあり、屋上庭園もあります。中学棟とは地上階の各フロアでつながっています。

マルチメディア教室



情報や英語、選択授業などで使用。オープンスペースとしても開放。

理科室



科目の特性に対応した理科室が本校には3つあります。

美術室



中高それぞれの美術の授業で使用します。

音楽室



音楽室は2つあり、中高同時に授業することができます。

工作室



電動工具などを使い、木材の加工を行う技術の授業で使用します。

調理室



家庭科(中学)や生活文化(高校)の授業で中学生も高校生も使います。

1 中庭



緑にあふれ、多くの生徒たちの憩いの場となっています。

2 食堂



ガラス張りの開放的なスペースで昼食を楽しむことができます。

3 図書館



自然の光が差し込み、明るく開放的。CDやDVDの視聴などもできます。

4 オレンジホール



さまざまな行事や各学年の集会などで使われる多目的のホールです。

5 カウンセリングルーム



生徒や保護者の方々をサポート。さまざまな相談や話ができます。



360°ビューもご覧ください

沿革 HISTORY

1936(昭和11)年  
法政中学校・法政大学商業学校、市ヶ谷(現大学校地)に創立

1946(昭和21)年  
吉祥寺に移転

1947(昭和22)年  
旧制法政中学校に新学制による中学校を併設

1948(昭和23)年  
新学制による法政大学第一中・高等学校を開設

1971(昭和46)年  
高校、服装の自由化を実施

1986(昭和61)年  
創立50周年記念式典、記念会館竣工

1990(平成2)年  
中学3クラス、高校6クラスの体制を開始

2006(平成18)年  
新制服順次導入(中1・高1より)  
文部科学省から「スーパーイングリッシュランゲージハイスクール(SELHi)」に指定(～2008年度)

2007(平成19)年  
法政大学中学高等学校として三鷹市牟礼に移転  
男女共学化・中学4クラス、高校6クラスの体制を開始  
新カリキュラム導入



## Message

校長ご挨拶

# 生徒の意見を聴き、 ウェルビーイングを共に創る学校へ

不安や孤独を感じがちな今日、自分の居場所があり共感し合い元気がわいてくる、そんな学校にしたいと思います。一見、受験や進路に関係ないと思われる教科についても、知識や視野の幅を広げ、楽しみながらゆとりある人生を生きるための学びを生徒と共に追求します。学校は、知らないことを発見して、昨日より豊かになるために、夢中になれることを探す感性を育てる場所です。よりよい学校を創るために大切にしたいことを2つ述べます。

### 相談できるってすごい力をもっていること

法政大学は2016年ダイバーシティ宣言を発表しました。全構成員の誰もが傷つかず、差別をされず、本人の意思を尊重し、ジェンダーバランスのある学びの場を大切にします。どの子どもその子らしくいられるように、子どもが発する言葉や行動の裏にある本音に大人が向き合わなければなりません。生徒には安心して相談できる人に出会えるまであきらめずに話してほしいと伝えています。また性を学ぶことは人権

の大切な柱(権利)です。ユネスコなどによる「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」をもとに、プライバシーを尊重し悩みを共有し対話を通して知識・スキル・態度を身につけさせたいと思います。

### いまを幸せにするために考えよう

人と繋がり解決したい社会の課題と向き合う、これが法政大学の「自由を生き抜く実践知」です。OECDラーニング・コンパス(学びの羅針盤)2030は、個人や社会のウェルビーイングに向けた方向性を示しています。生徒、教師、保護者や幅広いコミュニティとの共同が好循環をつくるとされ、若者が主導し意思決定は若者と大人との協働で行われる学びが求められています。本校では生徒が三者協議会を開き、生徒・教員・保護者が対等に話し合い、より過ごしやすい学校を実現し、みんなのいまを幸せにするより良いルールとは何かを考えています。生徒が主人公になり、ウェルビーイングを軸に共に未来を創ります。

# 自主・自律

### 教育目標

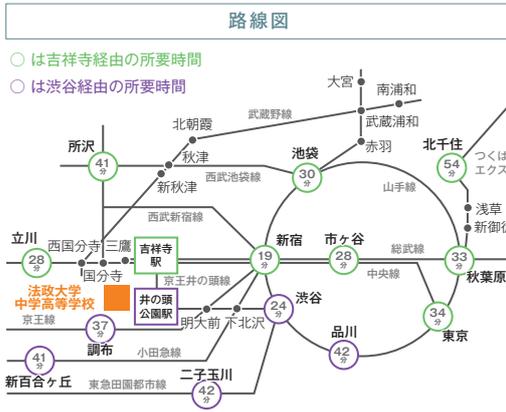
日本国憲法が定める基本的人権を尊重し、平和で民主的な社会の形成に資する主権者を育てる。

法政大学の校風として育まれた「自由と進歩」を体現する主体的で創造的な人間を育てる。

豊かな知性と教養、健康な心と身体、思考力と判断力を有する人間を育てる。



法政大学中学高等学校  
校長 松浦 麻紀子



※井の頭公園駅平日AM8:00前後到着での乗り換え時間を含めた所要時間です。  
 ※調布からは京王線「明大前駅」経由、新百合ヶ丘からは小田急線「下北沢駅」経由。

### 交通案内

#### 徒歩の場合

- 京王井の頭線「井の頭公園駅」下車 徒歩約12分
- JR線「吉祥寺駅」下車 徒歩約20分

#### 自転車通学の場合

- 本校から半径10kmの範囲に自宅がある場合のみ許可制で通学が可能です。
- 自宅以外からの自転車通学は認めていません。

#### バスの場合

- JR線「三鷹駅」より「久我山」行き 京王バス約9分「西ヶ原」バス停下車 徒歩約4分
  - 京王井の頭線「久我山駅」より「三鷹」行き 京王バス約10分「西ヶ原」バス停下車 徒歩約4分
  - 京王線「調布駅」より「吉祥寺」行き 京王バス・小田急バス約25分「下連雀」バス停下車 徒歩約12分
- ※バスの所要時間は時間帯、交通状況により異なります。

### 中学入試情報

**2024年度 入試日程**

- 2月1日(木)
- 2月3日(土)
- 2月5日(月)

### 高校入試情報

**2024年度 入試日程**

[推薦入試] 1月22日(月)  
 [一般入試] 2月10日(土)

### 2024年度入試向けイベント

中学・高校入試イベント		中学入試イベント	
<b>学校説明会(要予約)</b> ■ 6月17日(土) ■ 10月 7日(土) ■ 6月24日(土) ■ 10月14日(土) ■ 7月 1日(土) ■ 11月18日(土) ■ 9月30日(土)	<b>学校見学会(要予約)</b> ■ 8月 5日(土) ■ 8月26日(土)	<b>オープンキャンパス(要予約)</b> ■ 7月 8日(土) 9:00開場 <b>入試直前対策講習会(要予約)</b> ■ 12月16日(土) 8:30~11:00	 上記QRコードから ご予約をお願いします。
※詳細はホームページをご覧ください。			